



ご参観ありがとうございました

2月5日（木）は、今年度最後の参観日。平日の午前中にもかかわらず、大勢の保護者の皆様に、授業の様子を見ていただきました。保護者の皆様の関心の高さを改めて感じました。ありがとうございました。

今回の授業では、多くの学年、学級で自分ができるようになったことを伝えたり、これまで学習したことを発表したりする内容



が多く見られました。生活科や総合的な学習の時間に聞いたり調べたりしたことを、子どもたちはまとめていました。それだけでも身に付くことはあるのですが、人に伝えることでより定着度が増すことが知られています。人に教えること



ができるほど理解している、というわけです。地域のこと、自分自身の成長のこと、防災のことなどについて、友達だけでなく保護者・地域の皆様にも伝えることができたのは、よい経験になったと思います。発表がちょっと苦手、という子もいたはずですが、参観日だから頑張ったのではないかでしょうか。それも大事なことだと思います。保護者の皆様は、

発表を聞いて子どもたちの思いを理解したり、初めて知ったりしたことがあるかもしれません。そういう意味では、それぞれが学ぶ機会になった参観日だったように思います。

自主学習ノートコンテスト

今年度は、基礎・基本の定着のためE I L S計算検定を定期的に実施したり、家庭での学習の意識付けを図ったりしています。さらに来年度につなげていくために、「自主学習ノートコンテスト」を実施しました。既にコンテストは終わり、その表彰も行いました。

「自主学習」はしてもしなくてもよいということではありません。自分でテーマを決めて学習をする、ということです。その「テーマ」はどんなことでもよいので、まずは自分で考えて決めることから始めてほしいと思います。何をするのか迷う場合には、「量を自分で決める」とよいと思います。辞書の漢字をここまで書く、計算問題を20問までする、というような感じです。「質を決める」のであれば身近なことがよいと思います。「どうしてチューリップは球根で栽培するのだろう」「なぜ時間は60進法でつくられているのか」というような疑問をもつことが大事です。調べ方はたくさんありますから、それを追究してほしいと思います。さら、まとめ方も大事です。丁寧に書くことや分かりやすく表すことがポイントです。表やグラフを使ったり、写真や図で表したりすることもできるはずです。テーマ、調べ方、まとめ方を自分で考えて決められるところに、自主学習の意味があります。

